



鹿の子百合

薩摩川内市立中津小学校
令和7年6月発行 No.3
薩摩川内市上甕町中甕254
Tel09969-2-0013 Fax09969-6-1632
発行責任者:校長 西元 真一



「椋鳩十さん」と「戦争」と「中津小」

校長 西元 真一

梅雨に入り、色とりどりの紫陽花が見られる時期となりました。天気が不安定な日が多いですが、子供たちは天候に合わせて楽しく過ごしています。今月は読書月間で毎日2冊ずつ本を借りることができるため、子供たちは読書を楽しんでいます。

さて、今年度は鹿児島ゆかりの児童文学作家「椋鳩十」(むく はとじゅう)さんの生誕120年であり、また、戦後80年の節目の年です。そのため、椋鳩十さんに関するイベントが各地で開催されたり、戦後80年に関する特集が新聞やテレビ等で組まれたりしています。

「椋鳩十さん」と「戦争」と「中津小」。関係ないようで、実はとても関係があるようです。

先月の学校便りでも紹介した甕島が舞台の物語、「孤島の野犬」に収められているお話の一つ「王者の座」は、第二次世界大戦の頃のお話です。島に駐屯していた兵隊に軍用犬として飼われていたシェパードたちが、戦況により翻弄されながら生きていく様子が鮮烈に描かれていて、胸に迫ります。戦争の愚かさや人間の身勝手さ、命の大切さなど、著者が伝えたかったであろう強い思いが響いてきます。



久保田彦穂(くぼた ひこほ)さん(椋鳩十さんの本名)は、中津小の校歌を作詞されています。その校歌の最後の歌詞は、「**世界の子らと手をくまん**」です。

私はこの歌詞を初めて見たとき、「何てグローバルな歌詞なのだろう。かなり昔に作詞されたはずなのに凄い!」とびっくりしました。しかしその後、「孤島の野犬」を読み、甕島にも悲しい戦争の時代があったことや、椋鳩十さんが、自身の戦争体験から動物たちの姿をとおして命の尊さなどを表現するようになったことを知りました。

それからは「世界の子らと手をくまん」の歌詞は、校歌の枠を超えて「平和な世界の担い手として生きていってほしい」という椋鳩十さんから未来の子供たちへのメッセージとも受け取れるのではないかと考えるようになり、中津小の校歌の素晴らしさに改めて感動しています。

現在でも甕島には防衛のための最前線のレーダー基地があり、私たちの安全と安心を守っています。また、世界中では今なお戦争や様々な悲惨な事件が起こっています。さらに、「孤島の野犬」と同じく大戦直前に発表された作品「大造じいさんとガン」は、今でも小学校5年生国語の教科書に載っていて、愛や勇気、優しさの大切さを伝えています。椋鳩十さんの生誕120年であり、戦後80年の節目の年に、これらの事実や意味を改めて考え直すことは、とても意義深いことではないでしょうか。

三 見よ、この海の 大なる手 よろずの国を 結ぶなり あ、この心、 この心、 中津のわれら 海に 世界の子らと 手をくまん	二 海の子らよ、 そのたくみ 星づく夜の ふしぎなる あ、このえい ち、このえい ち、 われら、 文化のとも し、かかげ なむ	一 見よ、この海を とどよめ どよめかえ して、岩をう つ あ、この力、 この力、 われら、 よき国よき 世を、ひら かなむ
---	--	---

校歌

久保田彦穂 作詞
田中義人 作曲

幼小合同引き渡し訓練

5月20日(火)に、風水害など災害等の発生を想定した幼小合同避難訓練(保護者の引き渡し訓練)を行いました。子供たちは職員の指示をよく聞いて、教室から体育館へ静かに迅速に避難することができました。全員集合後には、風水害時に気を付けることの確認を行いました。その後の保護者への引き渡しも円滑に行うことができました。御協力いただいた保護者の皆様へ感謝申し上げます。今後ともいざという時のために、防災の備えを確実にしていきます。



イモの苗植えをしました(幼小交流)

5月27日(火)に、1・2年生が幼稚園と一緒に、サツマイモの苗植えをしました。小学生が幼稚園児に優しく植え方を教える様子が微笑ましかったです。みんなで楽しく活動できました。秋の収穫が楽しみです。



がんばりました綱引競技大会!



5月28日(水)に薩摩川内市小学校綱引競技大会がサンアリーナせんだいで行われました。子供たちは試合前から緊張していましたが、集中力・気迫ともに高く、全員で勝ちにいく気持ちがあふれていました。

予選1試合目。3本勝負の1・2本目は実力を発揮することができませんでした。3本目はこれまでの練習の成果を発揮して長時間の引き合いにも粘り強く戦い、見事勝利することができました。これまでで一番綱を引いている姿勢が美しく、諦めない姿勢もとても素晴らしかったです。

綱引練習の御指導いただいた皆様、当日会場にて応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。

一日遠足に行ってきました!



6月13日(金)に、1~4年生が春の一日遠足に行ってきました。バスに乗って甕ミュージアム・田之尻展望所・トンボロの里みなと公園に行きました。

リニューアルされた甕ミュージアムでは、担当の方から化石について詳しい話を聞いたり、実際に化石に触ったりしました。世界に誇れる甕島の魅力を堪能できたようです。恐竜ミュージアムでは、4年生がリーダーとなり率先してあいさつしたり下級生の面倒をみたりと大活躍でした。そのため、全員が気持ちの良い態度で展示物の説明もしっかりと聞くことができました。

トンボロの里みなと公園では、友達と一緒に弁当やおやつを食べたり、みんなでレクリエーションをしたりしました。

幸い天候にも恵まれ、学級以外の子供たちとよい交流を深めることができました。

7月の主な行事

- 3日(木) 海岸清掃
- 5日(土) PTA海洋型親子レクリエーション
- 11日(金) 授業参観・学級PTA
- 18日(金) 終業式 大掃除

学校保健委員会の実施



6月5日(木)に全保護者を対象に学校保健委員会が行われました。

下学年と上学年に分かれて、今年度のテーマ「自立のためにできること〜生活リズム・メディアとの付き合い方を考えよう〜」や家庭で気になっていることについての話し合いや情報共有を行いました。

「メディアコントロールや情報モラル」「食事のマナー」「朝食のメニュー」に関することや「朝決まった時刻までに起きる」等の話題や意見が出ました。

参加して下さった保護者の皆様、ありがとうございました。

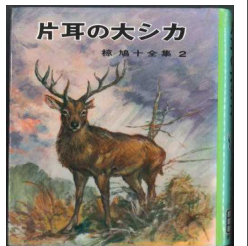
今月のおすすめの一冊

「片耳の大シカ」/椋鳩十作
(椋鳩十 全集2)ポプラ社

この本は、私が小学生の時に読んだ本です。アメリカのシートン著の「オオカミ王ロボ」のように、人間と人間以外の動物が対決(知恵比べ等)する話の本を好んで読んでいた時期がありました。その中で出会った1冊です。

「片耳の大シカ」は、屋久島を舞台に描かれた物語です。主人公の少年と、鹿狩りの名人である吉助おじさんが、冬の山でシカ狩りに行きます。そして、鉄砲で片耳を撃ち落とされた一匹の大鹿に出会います。

嵐に遭って洞穴に逃げ込んだ一行が、そこで片耳の大鹿と共にあたたかく過ごす様子が描かれています。(教頭 徳永 智明)



甌島5校合同宿泊学習(6月11日~12日)

充実した1泊2日でした

5・6年生が、6月11日(水)~12日(木)の2日間、甌島5校の小学校合同で、宿泊学習に行きました。1日目の活動は、木工ペンダント作りや野外炊飯でカレーライス作りに挑戦しました。夕食後は、せんだい宇宙館やプラネタリウムの見学も行いました。宿泊学習2日目は、朝のつどいや清掃後、インドアオリンピックで交流を深めました。普段の学校生活では味わえない体験をしたり活動をおして甌島の他校の皆さんとの友情を深めたりすることができ、充実した2日間となりました。何よりも帰島した子供たちのうれしそうで満足げな笑顔が充実ぶりを物語っていました。この体験で学んだことを生かしてさらに成長していく子供たちのこれからは楽しみです。



【 入所式 】



【 木工ペンダント作り① 】



【 木工ペンダント作り② 】

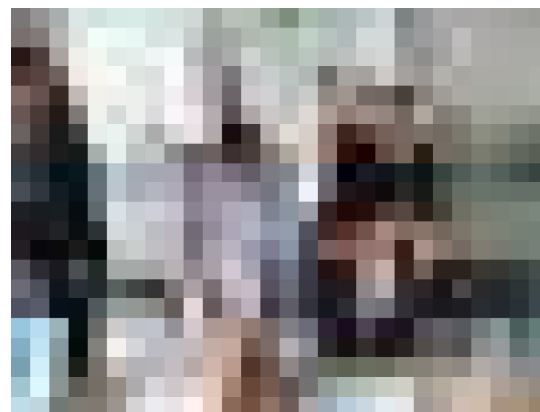
甌島5校の友達と親睦を深めることができました



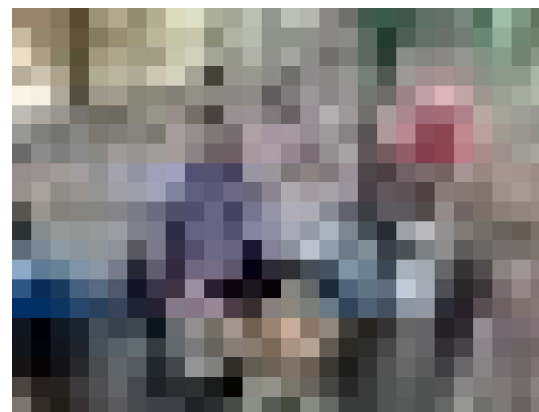
【館内での食事の様子①】



【館内での食事の様子②】



【 野外炊飯① 】



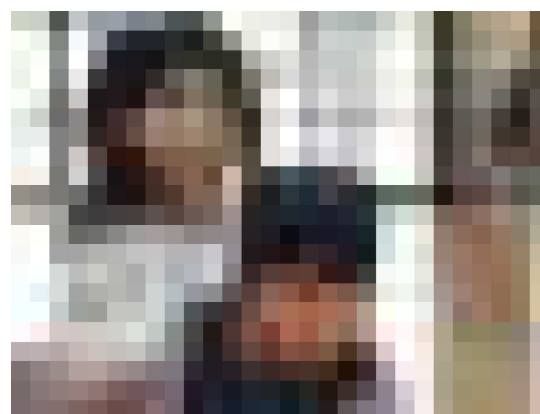
【 野外炊飯② 】



【 せんだい宇宙館見学 】



【清掃活動】



【インドアオリンピック】①



【インドアオリンピック】②



【甌5校集合写真】